

中世ヨーロッパにおけるフランス軍とサラセン軍の戦いを描いた
名高き武勲詩（シャンソン・ド・ジェスト）を、
当時のジョングルール（放浪楽師）のスタイルを元に独自のアレンジを加えて演じる
ジョングルール・ボン・ミュージシャン版「ロランの歌」

貴族の世から武士の世へ
時代の大きな転換点を迎える平安時代末期を舞台に
時空を自在に駆け巡る紅月版「平家物語」

ほぼ時を同じくして東西の中世で展開されていた
不思議にシンクロする二つの叙事的作品をカップリング上演！

【主催】
紅月劇団

ジョングルール・ボン・ミュージシャン

【協力】鷺野宏デザイン事務所

【宣伝美術】きたさやか

紅月劇団 Theatre Akatsuki

<https://r-lune.jp/>

1996年活動開始。古都鎌倉を拠点に、洋館や古民家、カフェなどの素敵な空間を見つけては、その場所から受けるインスピレーションをもとに、ユーモアとシリアス、芸術性が渾然一体となった演劇作品を創作、上演している。

Facebook Instagram Twitter: 紅月劇団

ジョングルール・ボン・ミュージシャン Jongleur Bon Musicien

<https://jongleur-japon.com/>

中世ヨーロッパの国々を音楽を演奏しながら旅していた放浪楽師ジョングルールをモチーフに、バグパイプ、中世フィドル、ハーディ・ガーディなどの様々な古楽器を駆使し、中世・ルネサンスの歌曲・器楽曲を演奏するアンサンブル。1998年近藤治夫を中心として結成。「民衆のエンターテイナーとしてのジョングルール」にこだわり、「音や金時」などのライブハウス、路上パフォーマンス、都電でのライブなど、民衆の中での古楽演奏を展開している。

栃木・蔵の街音楽祭、北とぴあ国際音楽祭（参加公演）、目白バ・ロック音楽祭、留音音楽祭など、古楽関連の音楽祭への出演多数。

CD：Les Jongleurs「中世を駆けめぐる放浪楽師」を2011年コジマ録音よりリリース。

会場：久良岐能舞台

久良岐能舞台は、能楽会専務理事の池内信嘉氏（1858～1934）が雛子育成のため、大正6（1917）年東京・日比谷に建てたものです。その後、昭和40（1965）年に、能楽愛好家であった宮越賢治氏が譲り受け、横浜市磯子区に移築・復元。昭和59（1984）年に宮越氏から横浜市に寄贈されました。現在は、人間国宝級の超一流の方から、一般市民の方々のお稽古や各種イベントまで、広く芸を育みあう事のできる「憩いの場所」として利用されています。



ACCESS

- ・京急「上大岡駅中央改札口」⇒京急バス上7系統、横浜市営バス64⇒「笹塚」下車（10分位）
- ・JR「磯子駅」⇒横浜市営バス64・78系統⇒「笹塚」下車（15分位）

●「笹塚」バス停より：大通りに面している「笹塚接骨院」の角を曲がります⇒「神奈川銀行」⇒「クリエイト」⇒右に「藤の木中学校」⇒石垣が見え「久良岐能舞台」の看板（5分位）

MAP



※駐車場のご用意はありません。近隣駐車場をご利用になるか、公共交通でお越しください。